

# 雜 報

## 人 事

<p>叙従五位 正六位 林 道 倫</p> <p>叙正六位 従六位勳五等 岸 本 宗 治 郎</p> <p>叙従六位 正七位 筒 井 徳 光 (十月十五日)</p> <p style="text-align: center;">臺灣總督府臺北醫學專門學校教授</p> <p>久 保 信 之 京都、大阪、愛知、福岡及熊本ノ各府縣へ出張ヲ 命ス (十月十日)</p> <p>叙正六位 従六位 廣 畑 龍 造 (十一月二日)</p> <p style="text-align: center;">岡山醫科大學助教授</p> <p>小 田 大 吉 本俸九級俸下賜 (十一月四日)</p> <p style="text-align: center;">岡山醫科大學教授 従四位勳三等</p> <p>田 村 於 兎 任岡山醫科大學長兼岡山醫科大學教授</p> <p>叙高等官一等</p> <p style="text-align: center;">岡山醫科大學長兼 岡山醫科大學教授</p> <p>田 中 文 男 免本官專任岡山醫科大學教授</p>	<p>賜二級俸 岡山醫科大學長 田 村 於 兎</p> <p>岡山醫科大學教授 田 中 文 男</p> <p>賜本俸一級俸</p> <p>職務俸千參百圓下賜 (十一月九日)</p> <p style="text-align: center;">陸軍三等軍醫正八位</p> <p>寺 岡 森 太 郎 任岡山醫科大學助教授</p> <p>叙高等官七等</p> <p style="text-align: center;">岡山醫科大學助教授</p> <p>寺 岡 森 太 郎 本俸十一級俸下賜</p> <p>職務俸金四百五圓下賜 (十一月十日)</p> <p style="text-align: center;">海軍軍醫中佐</p> <p>栗 栖 幸 穂 補海軍水雷學校軍醫長兼海軍通信學校軍醫長</p> <p style="text-align: center;">矢矧軍醫長兼分隊長 海軍軍醫少佐</p> <p>三 宅 正 一 横須賀鎮守府附被仰付 (十一月十四日)</p>
---	---

- 伊藤駒夫君 は今般本市立岡山病院を辭し廣島縣佐伯郡大柿町藝南病院に勤務せられたり
- 藤川良雄君 は豫て岡山醫科大學産科婦人科教室に勤務し居られしが今般辭職徳島縣麻植郡鴨島町に於て開業せられたり
- 田隅克巳君 は今般岡山醫科大學産科婦人科教室を辭し兵庫縣加古郡別府町に於て開業せられたり
- 城 義彰君 は豫て岡山醫科大學に於て研究中なりしか今般同學を辭し支那北平東軍三條胡同、同仁會北京醫院に歸任せられたり

●**學長更迭** 岡山醫科大學長田中文男君は去月初旬辭意を發表せられしを以て教授及學生一同は種々留任運動を行ひしも同君の決意は牢固として動かすべからず遂に別項の如く願に依り學長を免ぜられ専ら教授として留任せらるることとなり後任として同學教授田村於兎君が同學長に新任せられたり

●**學位授與** 藤野源三、大城眞郷、伊藤駒夫、村上隆徳、並河汪の5君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが本年9月14日の教授會を通過し本月18日醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及び參考論文は左の如し

藤 野 源 三 君

## 主 論 文

「ヒニーン」誘導體ノ血糖ニ及ボス影響

殊ニ「アドレナリン」過血糖ヨリ觀タル各誘導體ノ比較研究（本誌第42年第5號ニ發表セリ）

## 參 考 論 文

1. 諸種痙攣毒ノ體溫下降作用ニ及ボス「アトロピン」竝ニ迷走神經切斷ノ影響（本誌第41年第7號ニ發表セリ）
2. 環狀「グアニジン」誘導體ノ一般作用竝ニ家兎正常血糖ニ及ボス影響ニ就テ（本誌第43年第2號ニ發表セリ）
3. 環狀「グアニジン」誘導體ノ蛙ニ於ケル麻酔作用竝ニ骨骼筋ニ對スル作用比較研究（本誌第43年第4號ニ發表セリ）
4. 環狀「グアニジン」誘導體ノ血壓竝ニ呼吸ニ及ボス影響（本誌第43年第5號ニ發表セリ）
5. 血糖作用ヨリ觀タル「アドレナリン」ト「アドレナロン」トノ比較研究竝ニ夫等ノ作用ニ及ボス「コカイン」及ビ「ピツイトリン」ノ影響ニ就テ（追テ本誌ニ發表ノ豫定）
6. 2, 3 交感神經毒ノ體溫ニ及ボス影響 殊ニ體溫下降作用ニ就テ（追テ本誌ニ發表ノ豫定）
7. 2, 3 物質ノ催眠作用竝ニ解熱作用ニ及ボス酸及ビ「アルカリ」ノ影響ニ就テ（藤野源三, 山内正共著）（本誌第42年第4號ニ發表セリ）
8. 種々ノ生理的狀態ニ於ケル子宮附屬器ノ藥物學的研究特ニ當該子宮トノ比較（其2報）  
猫ノ廣韌帶及ビ圓韌帶ニ就キテノ實驗（藤田正夫, 藤野源三共著）（日本藥物學雜誌第8卷第4號ニ發表セリ）

大 城 眞 郷 君

## 主 論 文

- 其1. 生殖腺臟器ノ血清學的研究  
第1編 辜丸蛋白質ノ特異性ニ就テ（本誌第43年第4號ニ發表セリ）
- 其2. 生殖腺臟器ノ血清學的研究  
第2編 辜丸ニヨル同種竝ニ自家抗體ノ産成ニ就テ（本誌第43年第5號ニ發表セリ）
- 其3. 生殖腺臟器ノ血清學的研究  
第3編 精絲蛋白質ノ特異性ニ就テ（本誌第43年第9號ニ發表セリ）
- 其4. 生殖腺臟器ノ血清學的研究  
第4編 精絲ニヨル同種竝ニ自家抗體ノ産成ニ就テ（本誌第43年第10號ニ發表セリ）
- 其5. 生殖腺臟器ノ血清學的研究  
第5編 卵巢蛋白質ノ特異性ニ就テ（本誌第43年第12號ニ發表ノ豫定）

參考論文

1. 遊離海猴子宮過敏症ニ於ケル沈降素ノ意義  
附. 同上過敏症ニ及ボス2, 3藥物ノ影響 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
2. 逆重層輪環法ニヨル沈降反應ニ就テ  
附. 沈降素ノ尿及ビ唾液内移行 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
3. 稀有ナル卵巢ノ原發性惡性脈絡膜上皮腫ノ1例 (日本婦人科學會雜誌第17卷第10號ニ發表セリ)
4. 特異ナル喇叭管妊娠ノ追加2例 (臨牀產科婦人科第2卷第1號ニ發表セリ)

---

伊 藤 駒 夫 君

主 論 文

發熱ノ意義ニ關スル免疫學的研究 (本誌第43年第6號ニ發表セリ)

參考論文

1. 發作性血色素尿症ニ關スル知見補遺 (本誌第40年第3號ニ發表セリ)
2. 同 上 (第2報) (本誌第40年第11號ニ發表セリ)
3. 同 上 (第3報)  
「サルヅアルサン」ト補體 (本誌第41年第5號ニ發表セリ)
4. 網狀織内被細胞系統ト補體 (本誌第43年第12號ニ發表ノ豫定)
5. 異種蛋白注入ノ體溫ニ及ボス影響補遺 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
6. 發熱ト異種蛋白攝取 (伊藤駒夫, 藏本讀共著) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
7. 網狀織内被細胞系統ト異種蛋白攝取 (伊藤駒夫, 藏本讀共著) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
8. 創傷治癒ニ及ボス莖外光線ノ作用機轉ニ就テ  
其1. 莖外光線ト白血球喰菌作用 (本誌第43年第5號ニ發表セリ)

---

村 上 隆 徳 君

主 論 文

紫外線ノ血液瓦斯特ニ酸化炭素「ヘモグロビン」ニ及ボス影響 (本誌第43年第6號ニ發表セリ)

參考論文

1. 瓦斯代謝並ニ溫熱發生ニ及ボス2, 3藥品ノ影響 (本誌第42年第3號ニ發表セリ)
2. 「エオジン」及ビ「メチレン」青ノ生活現象ニ及ボス影響 (本誌第42年第12號ニ發表セリ)
3. 2, 3螢光物質ノ作用機轉ニ關スル研究 (本誌第43年第7號ニ發表セリ)
4. 可視光線ノ纖毛運動ニ及ボス2, 3ノ實驗 (本誌第43年第1號ニ發表セリ)
5. 電流ニヨル溶血作用ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

並 河 汪 君

## 主 論 文

原蟲性疾患ニ於ケル各種化學的治療藥品ノ作用方法ニ關スル研究

第1. 臟器殊ニ網狀織内皮細胞系トノ關係

第2. 物理的性状トノ關係

(臺灣醫學會雜誌第306號ニ發表セリ)

## 参 考 論 文

1. 「トリパノゾーマ」ノ胎内感染ニ關スル小實驗 (臺灣醫學會雜誌第250號ニ發表セリ)
2. 蠶體內ニ接種セル「トリパノゾーマ」ノ態度ニ就テ (臺灣醫學會雜誌第270號ニ發表セリ)
3. 慢性「マラリア」ニ於ケル「ウロビリノーゲン」ノ態度並ニ之ガ應用的價值ニ就テ (森下薫, 古玉太郎, 並河汪共著) (臺灣醫學會雜誌第270號ニ發表セリ)
4. 「プラスモヒン」ニヨル「マラリア」治療實驗(豫報) (森下薫, 並河汪共著) (臺灣醫學會雜誌第273號ニ發表セリ)
5. 「プラスモヒン」ニ依ル中毒症狀ニ就テ (臨牀醫學第17年第6號ニ發表セリ)
6. 再歸熱ノ實驗室内感染例並ニ人體通過ニ因ル「スピロヘータ」ノ毒力變異ニ就テ (臺灣醫學會雜誌第297號ニ發表セリ)
7. 「マラリア」治療ニ關スル研究  
II. 「プラスモヒン」ニ依ル「マラリア」治療實驗 (第1報)  
各熱種ニ於ケル短期治療ノ效果 (小田定文, 森下薫, 並河汪共著) (臺灣醫學會雜誌第310號ニ發表セリ)
8. 「マラリア」治療ニ關スル研究  
III. 柴胡ノ「マラリア」治療的效果 (臺灣醫學會雜誌第310號ニ發表セリ)
9. 「マラリア」治療ニ關スル研究  
V. こくさぎ及びなかばこんてりぎ煎(常山)ノ「マラリア」感染ニ及ボス影響 (森下薫, 並河汪共著) (臺灣醫學會雜誌第316號ニ發表セリ)
10. 「マラリア」治療ニ關スル研究  
VI. 各種「マラリア」ニ對スル「オスグレサン」ノ治療的效果 (森下薫, 並河汪共著) (臺灣醫學會雜誌第316號ニ發表セリ)

◎解剖祭 岡山醫科大學にては昨年11月より本年10月に至る1箇年間に解剖せる65名の靈に對し去10月30日午前10時より岡山市小橋町國清禪寺に於て解剖祭を執行せり定刻に至り一同着席するや僧侶の讀經あり次に田中學長, 學生總代關谷重幸君及び守屋岡山市長の祭文朗讀あり次に學長, 八木田, 田部兩教授, 學生總代, 來賓總代及び遺族の燒香あり最と嚴肅に式を終り別室に於て來賓及び遺族に茶菓の饗應ありて正午一同退散せり